

**Overview:** 神は栄光の神であり、神の家の神です。神の救いの目標は、地上における彼の住まいの建造です。神の家、召会に神の栄光が戻って来るために、私たちは偶像を徹底的に対処しなければなりません。また、召会生活で私たちは、神の栄光を最初に考慮すべきです。パウロは、御父が彼の栄光の豊富にしたがって、私たちの内なる人を増強し、キリストが私たちの心の中にホームを造れるように祈りました。これは、栄光が私たちの心の中に造りこまれることを暗示しています。このようにして、召会は建造され、神の栄光は召会に戻ってきます。

### I. 神は栄光の神であり、家の神です:

A. 栄光の神はアブラハムに現れ、彼を召し、引き寄せて、彼が神に従うことができるようにしました。同じ原則で、神は彼の目に見えない栄光によって新約の信者たちを召しています。

B. 栄光の御父は、彼の多くの子たちを通して表現された神です:

1. 「御父」という称号は再生を暗示しており、「栄光」という言葉は表現を暗示しています。
2. 「栄光の御父」という称号は、再生と表現を暗示しています。私たちは神によって再生されました。そして私たちは彼の表現です。

C. 創世記第35章7節には新しい神聖な称号、すなわち、「エル・ベテル」、「神の家の神」があります:

1. この章以前に、神は個人の神でした。ここで神はもはや単なる個人の神ではなく、エル・ベテル、すなわち、団体の神、神の家の神です。
2. ベテルは、団体の生活、すなわちキリストのからだを表徴しています。こういうわけで、ヤコブは神をベテルの神と呼んだとき、個人的な経験から団体的な経験へと前進していました。

D. 栄光は神の表現であり、建造は三一の神の団体的な表現です。こういうわけで、神の栄光と神の建造は並行します。なぜなら、召会は神の建造として、神の団体的な表現であるからです。』

### III. ヨハネによる福音書において、私たちは神の建造の中の神の栄光を見ます:

A. キリスト、肉体と成った言は、栄光で満たされた幕屋と宮です。』

B. 御父により神聖な栄光をもってキリストの栄光が現されたことの結果は、拡大された、宇宙的な、神性と人性の合併としての御父の家です。

C. ヨハネ第17章22節によれば、信者たちの一は、神の団体的な表現のための神聖な栄光の中にある一です。一のこの面において、信者たちは御父の栄光を彼らの成就された一の要素として享受し、こうして団体的な、建造された方法で神を表現します。

### II. エゼキエル書第43章1節から7節において、神の栄光は家に戻ってきました:

A. 私たちは、神が地上で持つことを願っている住まいについてのビジョンを見て、神の目標が建造であることを認識する必要があります。

B. 神の心の願いは、地上で人と共に住まいを持つことです。神の救いの目標は、地上における彼の住まいの建造です:

1. 神は地上で建造された召会を持つことを願っています。なぜなら、彼は地上で住まいを持つことを願っているからです。
2. 彼、すなわち天の神は、地上に住むことを願っています。彼が住む場所、彼の住まいは召会です。

C. 「これは私の御座の場所、私の足の裏の踏む場所、私が永遠にイスラエルの子たちの間で住む所である」:

1. 御座は神の統治、行政、王国のためであり、主の足の裏は彼の地上での行動のためです。
2. 主の御座の場所、また彼の足の裏の踏む場所としての宮がなければ、主には彼の地上での行政と行動のための根拠がありません。
3. 建造された召会だけが、主が彼の行政を執行し、地上で行動するための立場を彼に与えます。さらに、召会は主が彼の安息と満足のために住むことができる場所です。』

D. 宮の中の偶像のゆえに、神の栄光は徐々に離れていきました。それはまず宮から去り、次に都から去って、最後に民から去っていきました:

1. 主の栄光が離れたことは、神の現れが召会から離れることを表徴しています。
2. エホバの栄光がイスラエルから離れたことは、神の裁きの結果でした:
  - a. イスラエルの歴史において、このことが起こったのは二回目です: (1) シナイ山において、幕屋が建てられた時、主の栄光が幕屋を満たしました。(2) 後ほど、契約の箱がペリシテ人によって奪い去られると、主の栄光は幕屋を去りました。このことは、神が幕屋を放棄したことを意味します。
  - b. 宮がソロモンの時代に建造された時、主の栄光は戻ってきて、宮を満たしました。
  - c. 主の栄光は宮にとどまっていたが、時至って、エゼキエルは、主の栄光が宮と都を離れ去って、オリブ山にとどまり、最後に天に戻っていくのを見ました。それは主の栄光が離れたことでした。』

E. 神の栄光が戻ってくることは、家の建造にかかっています:

1. エゼキエルは彼の初期の務めにおいて、主の栄光が宮を去るのを見ましたが、彼の後期の務めにおいて、栄光が主の家に戻ってくるのを見ました。
2. 主の栄光が戻ってきたのは、神の家の建造が完成したからです:
  - a. 栄光は東から、すなわち栄光を表徴する日の出る方向から戻ってきました。主は栄光から戻って来ました。
  - b. 主の栄光は東の城門を通して家に入ってきました。東の城門は主の栄光のためでした: (1) 召会生活において、最も重要な城門は東の城門、すなわち主の栄光に開いている城門です。(2) 召会生活において、私たちが最初に考慮すべきことは、主の栄光であるべきです。
3. 主は地上に戻って来ることを願っていますが、彼は戻って来るために、住まい、すなわち彼の御座と彼の足の裏の踏む場所を必要としています:
  - a. 彼の住まいは召会、すなわち彼の行政と地上での行動の根拠です。
  - b. 神の関心は単に救いにあるのでも霊性にあるのでもなく、建造にあります。
  - c. もし召会が今日、エゼキエル書で取り扱われている、神の聖なる建造の詳細すべてに符合し、こうしてあらゆる面において建造されるなら、神は栄光のうちに召会の中に住みます。
  - d. 栄光の神が召会の中に住むために、召会は建造されて神の住まいとならなければなりません。』

### IV. エペソ第3章は、召会の中で神の栄光が現されることを啓示しています:

A. パウロは、御父が彼の栄光の豊富にしたがって、聖徒たちを増強して下さるように祈りました。それは、神の栄光が聖徒たちの中へと造り込まれることができることを暗示しています。

B. パウロはエペソ第3章21節で言っています、「神に、召会の中で…栄光が…ありますように」。それは、聖徒たちの中へと造り込まれた神の栄光が、神に戻っていくことを暗示しています:

1. この栄光は神と共に私たちに来ます。そして、私たちの中へと造り込まれた後、私たちと共に神に戻っていきます。
2. 神の栄光は召会の中へと造り込まれます。そして神は召会の中で表現されます。
3. 召会の中で神に栄光があります。すなわち、召会の中で神の栄光が現されます。

### V. 新エルサレムの顕著な特徴は、神の栄光、神の表現を持っているということです:

A. 私たちはこの栄光のためにあらかじめ定められ、この栄光へと召されました:

1. 私たちは造り変えられて、この栄光の中へと入り、この栄光の中へもたらされます。

2. 私たちはキリストと共に栄光化されて、新エルサレムにおいて神の栄光を帯び、神の団体的な表現となります。

B. 新エルサレム全体は、神の栄光を帯びています。この栄光は都を通して輝き出る神ご自身です:

1. 実は、神の栄光は新エルサレムの内容です。なぜなら、この都は神の栄光で満たされているからです。このことが示しているのは、都が器であって、団体的な方法で神を内容とし、神を表現するということです。

2. 神の栄光は、神ご自身が現されることです。新エルサレムが神の栄光で満ち満ちているという事実は、神がこの都において現されることを意味しています。

3. 今日、召会生活も神の栄光を持っているべきであり、この驚くべき神聖な属性において、神を団体的に現し、表現すべきです。』

**第一日:**使徒7:2 …私たちの父祖アブラハムが…まだメソポタミヤにいた時に、栄光の神が彼に現れて。

エペソ1:17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の御父が…

創35:7 彼はそこに祭壇を築き、その場所をエル・ベテルと呼んだ。それは、彼が兄から逃れた時、神がそこで彼にご自身を現されたからである。

**第二日:**エゼキエル43:7 …人の子よ、これは私の御座の場所、私の足の裏の踏む場所、私が永遠にイスラエルの子たちの間で住む所である…

1テモテ3:15 それは、もし私が遅れた場合、神の家の中でどのように振る舞うべきかを、あなたに知ってもらうためです。神の家とは生ける神の召会であって、真理の柱また基礎です。

**第三日:**エゼキエル8:3 …霊が…神のビジョンの内に私をエルサレムに連れて行き、北に面した内庭の城門の入り口に至らせた。そこには、ねたみをひき起こすねたみの偶像の座があった。

エゼキエル10:19 彼らが出て行くとき、ケルビムは翼を上げて、私の目の前で地から上り、車輪はそのそばにあった。彼らがエホバの家の東の城門の入り口に立つと、上の方からイスラエルの神の栄光が彼らの上にあった。

11:23 エホバの栄光が町の中から上って行き、町の東にある山の上に立った。

出40:34 その時、雲は集会の天幕を覆い、エホバの栄光が幕屋を満たした。

**第四日:**エゼキエル43:2 すると、見よ、イスラエルの神の栄光が、東の道から来た。彼の声は多くの水の音のようであり、地は彼の栄光で輝いた。

4-5 エホバの栄光が、東に面した城門を通過して家に入って来た。すると、霊が私を引き上げて、私を内庭に連れて行った。まさにその時、エホバの栄光が家を満たした。

1コリント10:31 こういうわけで、あなたがたは食べるにも飲むにも、また何をするにも、すべて神への栄光のために行ないなさい。

**第五日:**ヨハネ1:14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。

2:19 イエスは彼らに答えて言われた、「この宮を壊しなさい。そうすれば、私は三日のうちこれを起こす」。

Ⅱペテロ1:16 私たちは、私たちの主イエス・キリストの力と来臨をあなたがたに知らせた時、巧妙にでっち上げられた作り話に従ったものではありません。私たちは、あの方の威光の目撃者となったのです。17 なぜなら、彼が父なる神から誉れと栄光を受けられた時、厳かな栄光によって、次のような声が彼に発せられたからです。「これは私の子、私の愛する者、私は彼を喜ぶ」。18 私たちは聖なる山に彼と共にいた時、天から発せられたこの声を聞いたのです

**第六日:**エペソ3:16-17 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいますように。またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ。

21 神に、召会の中で、またキリスト・イエスの中で、栄光がすべての世代に至るまで、永遠にわたってありますように。アーメン。

啓21:10 そして彼は私を霊の中で、大きな高い山へ連れて行き、聖なる都エルサレムが、天から出て神から下って来るのを私に見せたが、

11 それは神の栄光を持っていた。その光は最も尊い宝石のようであり、水晶のように透明な碧玉のようであった。

## 経験①: 神の家の神のビジョンを見て、召会生活の中で神を豊かに経験する

創世記第35章で、私たちは極めて重要で根本的な転換を見ます。しかしながら、このことを高く評価する神の子供たちは多くありません。彼らはこの章を何度も読みますが、その中に含まれている根本的な転換を認識していません。この章以前に、神は個人の神でした。彼はアベルの神、エノスの神、エノクの神、ノアの神、アブラハムの神、イサクの神でした。しかしここで、彼はもはや単なる個人の神ではなく、エル・ベテル、すなわち、神の家の神です。ヘブル語で、「エル(EI)」は神を意味します。エル・ベテル(EI-bethel)という称号の中で、このヘブル語の言葉がこの称号の初めと終わりの両方で二度、用いられています。ある意味で、神の家の神は重複しています。私たちはこの経験をあまり持っていないことを認めなければなりません。しかし、主に感謝します。召会生活の中へと入って来た後、私たちは神が私たちに与えてくれた神であるという経験をいくらか持ちました。召会生活の中で、私たちは個人的だけでなく、団体的に神を経験します。私たちはみな証しすることができますが、私たちが召会生活の中で経験する神は、私たちが個人の生活の中で経験する神よりもはるかに豊かで、甘いのです。こういうわけで、私たちは召会生活の中でさらに多くの時間を費やしたいのです。個人的に、私たちはアブラハムの神やイサクの神を経験することができますが、神をベテルの神として経験することはできません。私たちは召会生活の中ではじめて、神の家の神を経験することができます。

### 中高生編

創 35:7 彼(ヤコブ)はそこに祭壇を築き、その場所をエル・ベテルと呼んだ。それは、彼が兄から逃れた時、神がそこで彼にご自身を現されたからである。

創世記34章までは神は個人の神でした。しかし創世記35章でエル・ベテルという言葉が出てきます。それは神の家の神という意味です。創世記35章から神は、神の家の神です。なぜなら神の心の願いは召会、神の家を持つことだからです。

あなたは個人的に神を経験するだけであってはいけません。召会生活の中で兄弟姉妹と共に神を享受してください。あなたの学校生活で神を経験することも召会のためでなければ祝福されません。なぜなら私たちの神は、神の家の神、召会の神であるからです。召会生活ほど神の心に触れ、神を喜ばせるものは他にありません。

エペソ 1:18 あなたがたの心の目が照らされ、神の召しの望み(召会の中で神を享受すること)がどんなものであるかを、あなたがたが知るように。また聖徒たちの中にある神の嗣業の栄光が、どんなに豊富であるかを知るように。

召会生活において、肉眼で外側的に兄弟姉妹を見るだけであってはいけません。あなたは、心の目が照らされて、神の家の神、召会生活の中での神の祝福についてのビジョンをはっきりと見る必要があります。

召会生活の中には次のような祝福があります。

i) 享受があり、喜びがある: この世の享樂にも楽しみはありますが、それは一時的ではなく、罪が絡んでいます。したがってこの世の享樂の結果、淫行、暴力などに巻き込まれることがあります。例えば大学生たちはバカ騒ぎすることを好みます。酒を飲み、バカ騒ぎをした後、人の肉の中に住んでいる罪が解放されて、淫行、暴力などに陥ることがあります。しかし召会生活の享受は純粹で、あなたの魂を造り変えるキリストで満ちています。主を享受すると、困難な環境の中でも喜びを感じることができ、前向きに学校生活を送ることができるようになります。

ヘブル 11:25 罪のはかない享樂にふけるよりは、

ii) 保護がある: 召会生活の中でキリストは暴風を避ける覆いとなり、あなたを保護します。あなたは厳しいいじめに遭ったり、同級生に完全に無視されたりする暴風から守られます。イザヤ 32:2 ひとりの人が、風を避ける避け所、暴風を避けるおおいのようになり、あなたはまず、心の目で召会生活の中に神がおられることをはっきりとみてください。このビジョンに基づいて、召会生活を実行してください。そうすれば、あなたは祝福されます。

## 経験②: 神の栄光が神の家に戻ってくる

なぜ主の栄光が戻って来たかを理解することは重要です。主の栄光が戻ってきたのは、宮の建造が完成したからです。これは極めて重要な点です。何と主は地に戻って来ることを願っておられることでしょう！しかし、彼は戻って来るために、彼の足の裏が安息する場所、彼が足を置くことができる場所を必要とします。彼の住まい、彼の家は、彼が足を置くことができる地上の場所です。

何世紀にもわたって敵はこうかつにも、クリスチャンが建造について何も知らせないようにしてきました。キリスト教の教師は救いの事柄を大いに強調し、ある程度は霊性の事柄を強調しますが、建造の事柄をほとんど強調しません。…建造は召会以外の何ものでもありません。

今日、主は個人的な霊性だけに興味を持たれません。ダニエルのような多くの霊的な人がバビロンで起こされたとしても、主の栄光はそこへ行って彼らを満たすことはありませんでした。主の栄光はダニエルに戻ってきませんでした。そうではなく、それは宮が再建された後、宮に戻りました。

### 在職青年編

主イエスは再来する前に、正常な召会生活を完全に回復します。今すべての信者は、召会を建造するために、この地上にいます。毎日の召会生活において、キリストを経験し、召会を建造する必要があります。パウロは召会建造のために次のように祈っています。

エペソ 3:14 こういうわけで、私は御父に向かってひざをかがめて祈ります。16 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがって、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいますように。17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。…18 力に満たされて、すべての聖徒たちと共に、その広さ、長さ、高さ、深さが何であるかを会得し、19 …また、あなたがたが満たされて、神の全豊満へと至るように。21 神に、召会の中で、…栄光が…ありますように。アーメン。

召会建造のために、あなたはビジネス・ライフと召会生活の中で、次のことを経験してください。

- i) まず、あなたの再生された霊が増強され、燃やされる: あなたは、「毎朝復興」を実行し、霊が増強され、霊が燃やされることの開始を持ってください。そして一日中霊の中で燃えている必要があります。霊の中で燃えている人は、ビジネス上の急激な変化や困難に立ち向かうことができます。霊が燃えていないと環境上の大きな変化に気付かず、一般的な決まりきった対応しかできないので、必ず失敗します。
- ii) 次にキリストがあなたの心の中にホームを造る: 霊が増強された後、あなたは思いを霊に付け、キリストをあなたの霊からあなたの思いに広げさせる必要があります。思いを霊に付けることは、ビジネス・ライフにおいて極めて重要な秘訣です。思いを霊に付けなければ、ビジネス・ライフにおいてキリストの豊富を享受し、キリストを生かし出すことはできません。キリストを集会所に置き忘れてはいけません。あなたは必ずキリストを持って会社に行ってください。このことは、あなたが思いを開き、思いを霊に付けるかどうかにかかっています。思いを霊につけることができれば、あなたはキリストの思いの中で、業務に取り掛かることができるので、あなたは祝福されます。
- iii) すべての聖徒たちと共にキリストの広さ、長さ、高さ、深さを経験し、神の全豊満に至る: 召会生活の中のキリストは、豊かで、立方体です。兄弟姉妹と共に団体の生活を送ってください。そして兄弟姉妹に頼り、兄弟姉妹を助けてください。さらに召会建造のために、ビジネス・ライフで証しのある生活をしてください。主が召会建造のためにあなたのビジネス・ライフを祝福してくださいますように。アーメン！

## 775番

1. 主はからだ、はなよめをあがないて、  
主のゆたか満たし、主をひょうげんす。  
主はしょう会のすべて、しょうかいは主述べ、  
主がしみわたり、また主とえい光分かつ。  
(復) 見よ、主のしろ！ えい光に満つ！  
そはまったきかみのひょう現なり。
2. かみとひとが混ざり合うはおく義；  
ひとが栄光に満つかみをやどすは、  
かみのゆたかしめすうちゅうのうつわぞ；  
きよさと混ざりつつ、うるわしき表現す。
3. 変えられしたみの生けるたい系は、  
しん珠や宝せきのとうときがごと。  
かみのみかたちへとかたちづくられる；  
ちゅう心なる御座より生けるみずながる。  
(復) キリストなるいのちの木は、  
ゆたかにしん鮮な実をむすぶ。
4. せい金のしょくだい、あかりは主なり、  
主はかみのえい光、聖れいで照らす。  
ひとはかみに住みて、かみはひとに住む、  
これぞかみの永遠のけいかく、もくてき。

## 775 终极的显出一圣城

1. 哦主耶稣，你的赎民是你身体并新妇，  
作你丰满、作你表现，使你彰显你丰富。  
你永是她一切一切，她是你恩的宣告；  
你要将她完全浸透，要她有分你荣耀。  
(副) 看哪，神的圣城！满了神的光明！  
这是神完满的表现，永显于人性。
2. 是神与人完全相调，大哉，敬虔的奥秘；  
神的荣耀，丰满、灿烂，人作神居，荣无比。  
是一宇宙伟大器皿，全然表现神丰满；  
完全调着神的圣洁，使神荣美得彰显。
3. 乃是神所变化的人，一个永活的组合；  
如同珍珠、宝石珍贵，与神荣形相符合。  
从神宝座—她的中心，流出生命的活水；  
基督在此作生命树，结出鲜果，丰而美。  
看哪，神的圣城！满了神的光明！  
这是神完满的表现，永显于人性。
4. 是一永远精金灯台，托着基督作明灯；  
神在基督作她荣光，藉着圣灵来照明。  
乃是终极、完满表现，是神调人的建造；  
乃是神、人互动居所，是神计划的目标。

## 976 Ultimate Manifestation – The Holy City

1. Lord Jesus, Thy redeemed ones  
Are Thy Body and Thy Bride;  
As Thy fulness, Thine expression,  
In her Thou art glorified.  
Thou, her all in all forever,  
She Thy riches doth declare;  
Thou dost fully saturate her  
And Thy glory with her share.  
(C) Lo, the holy city,  
Full of God's bright glory!  
It is God's complete expression  
In humanity.
2. God with man completely blended,  
Mystery of godliness,  
God in glory, full, resplendent,  
Man, His dwelling, doth express;  
'Tis a vessel universal  
All God's fulness to express.  
All His beauty manifesting,  
Mingled with His holiness.
3. 'Tis a living composition  
Of the saints He hath transformed;  
As the pearls and stones most precious,  
To His image they're conformed:  
From the throne of God, its center,  
Flows the living water free;  
Christ the tree of life doth flourish,  
Bearing fruit abundantly.
4. 'Tis th' eternal golden lampstand,  
Holding Christ, the lamp of light;  
God in Christ the light of glory  
As the Spirit shineth bright!  
'Tis the ultimate expression—  
Man in God and God in man;  
'Tis their mutual habitation,  
Goal of God's eternal plan.